

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等： 地域イノベーション学研究科

事業担当者の職・氏名： 研究科長 諏訪部 圭太

内線電話番号： 6977

電子メール： suwabe@bio.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

 第17回地域イノベーション学に関する国際ワークショップの開催と交流事業

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要 (簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください)

地域イノベーション学研究科の発足から毎年行っている「地域イノベーション学に関する国際ワークショップ (International Workshop on Regional Innovation Studies; IWRIS)」は、三重大学内で開催し、海外の大学から研究者を招へいして、教員並びに学生が国際的な情報交流と英語による研究論文の執筆・発表を経験することによるグローバル化に対応した国際感覚を身に付けるための学術交流であり、2025 年においても 17 回目の開催である第 17 回地域イノベーション学に関する国際ワークショップ (IWRIS2025)

(図 1) を行った。

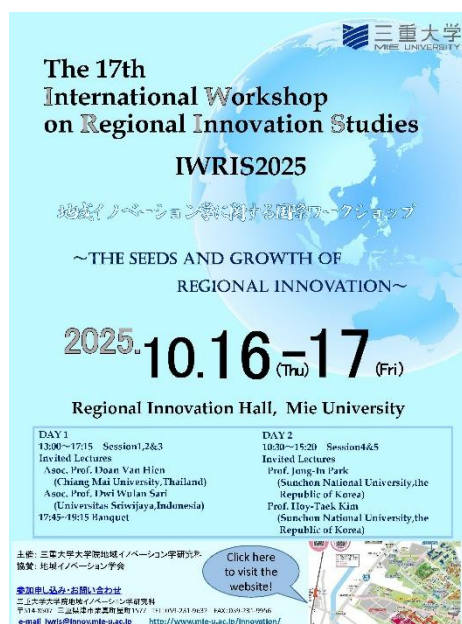


図 1 IWRIS2025 国際ワークショップのポスター

(2) 事業の背景・これまでの実績

地域イノベーション学研究科は、平成 21 年の研究科開設以来、「地域イノベーションの種と育成」をテーマに、毎年「地域イノベーション学に関する国際ワークショップ (IWRIS)」を開催している。

これまでに参加した国・地域は、マレーシア、中国、台湾、カンボジア、タイ、韓国、トルコ、フィリピン、インドネシアの延べ 9 か国にのぼり、活発な国際交流を継続的に推進してきた。累計参加者数は約 2,000 名に達している。

2020 年から 2022 年の 3 年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により海外研究者の招聘は困難であったが、オンラインによる招待講演を実施するなど、工夫を凝らして開催を絶やさず続けてきた。

2023 年以降は従来の規模に回復し、海外研究者を招聘した 2 日間の対面開催を再開している。従前の実施方法に教育的要素を加味し、授業として参加する学生には評価基準に質疑応答の実施状況が考慮されることを明文化することで、質疑応答の場が活発となるような仕組みを導入した。第 17 回目となる 2025 年度は本学協定校のチェンマイ大学 (タイ)、スリウィジャヤ大学 (インドネシア) に加え、順天大学校 (韓国) の三大学から研究者を計 4 名招聘した。本研究科学生にとっては、海外研究者らとの議論を通じて国際的な視野を広げ、英語による発表・討論能力を高める貴重な機会となっている。

(3) 事業実施結果

第 17 回地域イノベーション学に関する国際ワークショップ (IWRIS2025) を、以下のスケジュールにて実施した。

- ① 7 月 11 日 (金) (7 月 18 日 (金) まで延長) 発表申込 (査読用原稿) 締切
- ② 8 月 18 日 (木) 論文査読結果による採択通知

③ 9月5日(金)(9月12日(金)まで延長) 印刷用原稿締切

④10月16日(木), 17日(金) 国際ワークショップの開催

- ・場 所：地域イノベーション研究開発拠点C棟3階
地域イノベーションホール
- ・一般講演：13件(日本11件、インドネシア2件)
- ・招待講演：4件(タイ1件、インドネシア1件、韓国2件)
- ・参加者数：1日目72名、2日目63名、延べ135名

⑤海外の招へい教員(所属)

- ・チェンマイ大学(タイ)(図2)
Assoc. Prof. Hien Van Doan
- ・スリウィジャヤ大学(インドネシア)(図3)
Assoc. Prof. Dwi Wulan Sari
- ・順天大学校(韓国)(図4)
Prof. Jong-In Park
Prof. Hoy-Taek Kim



図2 チェンマイ大学のロゴ 図3 スリウィジャヤ大学のロゴ 図4 順天大学校のロゴ

第17回地域イノベーション学に関する国際ワークショップ(IWRIS2025)は、昨年度に引き続き、海外からの招聘者を迎え、2日間に渡って対面で開催された(図5, 6)。一般研究発表のほか、チェンマイ大学(タイ)のHien Van Doan先生、スリウィジャヤ大学(インドネシア)のDwi Wulan Sari先生、順天大学校(韓国)のJong-In Park先生とHoy-Taek Kim先生による招待講演(図7)を実施し、1日目にはバンケット(図8)も開かれ、活発な交流が行われた。

延べ135名の参加者の中、招待講演4件をはじめ、セッション1「Social Science I for Regional Innovation」、セッション2「Social Science II for Regional Innovation」、セッション3「Engineering for Regional Innovation」、セッション4「Biological Science for Regional Innovation」の4セッションにより、13件の一般研究発表が行われ、多様な発表と質疑が行われた(図9)。

なお、一般研究発表に対しては、アブストラクト及びフルペーパーの査読と英語での発表を評価した結果、1名の発表者に最優秀論文賞、2名の発表者に優秀論文賞を授与した。(図10)



図5 諏訪部研究科長による
開会挨拶の様子



図6 集合写真



図7 招待講演の様子



図8 バンケットの様子



図9 大学院生による発表と質疑の様子



図10 表彰式

(4) 事業の意義

本国際ワークショップは、三重地域圏の学際的研究、国際的な共同研究を促進するために、大学の教員と学生、教員と教員、学生と学生が英語で意見交流する場を提供することを目的に実施している。すなわち、学生が英語で研究論文を執筆し、英語で研究発表する経験をし、研究と国際交流に対するモチベーションを向上させ、地域社会を牽引する国際的に活躍する人材の育成を目指して本事業を実施している。本研究科の学生にとっては、この国際ワークショップは英語科目の単位認定に位置づけられており、単に会場の準備や会場係としてワークショップの運営に関わるだけでなく、発表に対して英語で質問をすることで、英語を使ったコミュニケーションの練習の場としても非常に意義深いものとなっている。

(5) 事業の発展性

本国際ワークショップは、地域イノベーション学研究科の主催で毎年開催しており、来年度以降も外国の大学の研究者を招へいし、同じ時期に同じ形式で開催することとしている。なお、3年後には第20回を記念して開催すること検討しており、同ワークショップの充実を図ることが、本研究科における教育・研究の発展・充実に繋がるものとして取り組んでいる。

併せて、この事業によって、本学と海外の大学とのより深い相互理解が進展し、よりふさわしい博士前期課程と博士後期課程の学生を入学させることが可能となることを確信している。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

<該当する中期目標>

- (3) 国や社会、それを取り巻く国際社会の変化に応じて、求められる人材を育成するため、柔軟かつ機動的に教育プログラムや教育研究組織の改編・整備を推進することにより、需要と供給のマッチングを図る。
- (8) 学生の海外派遣の拡大や、優秀な留学生の獲得と卒業・修了後のネットワーク化、海外の大学と連携した国際的な教育プログラムの提供等により、異なる価値観に触れ、国際感覚を持った人材を養成する。
- (9) 様々なバックグラウンドを有する人材との交流により学生の視野や思考を広げるため、性別や国籍、年齢や障害の有無等の観点から学生の多様性を高めるとともに、学生が安心して学べる環境を提供する。
- (17) 外部の意見を取り入れつつ、客観的なデータに基づいて、自己点検・評価の結果を可視化するとともに、それを生かしたエビデンスベースの法人経営を実現する。併せて、経営方針や計画、その進捗状況、自己点検・評価の結果等に留まらず、教育研究の成果と社会発展への貢献等を含めて、ステークホルダーに積極的に情報発信を行うとともに、双方向の対話を通じて法人経営に対する理解・支持を獲得する。

(7) その他

<本研究科ディプロマ・ポリシー (DP) に示す3つの能力>

- ① 高度な研究開発に関する能力
- ② プロジェクト・マネジメントに関する能力
- ③ グローバル化に対応した国際感覚

ODP 達成に本事業が果たす役割

当該事業である国際ワークショップにおいては、博士前期課程と博士後期課程の大学院生が研究した内容を英語の論文にまとめ、発表し、海外の方を含めた研究者らと英語によりディスカッションすることで、国際感覚を身につけることができる。これにより、国際的にも評価されうる基準に沿った「高度な研究開発に関する能力」、課題の発見とその解決の方策を管理・遂行する「プロジェクト・マネジメントに関する能力」、研究開発した内容を英語で表現する「仕事に役立つ英語」の能力、すなわち「グローバル化に対応した国際感覚」を修得できる。

来年度以降も継続して国際ワークショップを開催しますので、引き続き、ご支援を宜しくお願い致します。

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

第17回地域イノベーション学に関する国際ワークショップ（IWRIS2025）を三重大学地域イノベーションホールで開催

【概要】

2025年10月16日（木）、17日（金）に、三重大学地域イノベーションホールにて、「第17回地域イノベーション学に関する国際ワークショップ（The17th International Workshop on Regional Innovation Studies（IWRIS2025）」が開催された。

この国際ワークショップは、三重大学に「地域イノベーション学研究科」が設立された平成21年（2009年）から三重大学で毎年開催されており、海外からの招聘者を迎え、2日間に渡って対面で開催された。延べ135名が参加する中、招待講演4件のほか、セッション1「Social Science I for Regional Innovation」、セッション2「Social Science II for Regional Innovation」、セッション3「Engineering for Regional Innovation」、セッション4「Biological Science for Regional Innovation」の4セッションにより、13件の一般研究発表が行われ、多様な発表と質疑が行われた。

また、1日目にはバンケットを開催するなど、開催期間を通じて活発な国際交流が図られた。

【論文賞】

一般研究発表に対しては、アブストラクト及びフルペーパーの査読と英語での発表を評価した結果、1名の発表者に最優秀論文賞、2名の発表者に優秀論文賞を授与した。

【次回開催】

第18回地域イノベーション学に関する国際ワークショップ（IWRIS2026）は2026年10月中旬に三重大学で開催する予定である。

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

“The 17th International Workshop on Regional Innovation Studies (IWRIS2025)” at Regional Innovation Hall, Mie University

【Outline】 The 17th International Workshop on Regional Innovation Studies (IWRIS2025) was held at the Regional Innovation Hall, Mie University on Thursday, October 16-17, 2025.

This international workshop has been held every year at Mie University since 2009, when the "Graduate School of Regional Innovation Studies" was established at Mie University. It was held for two days with invited speakers from overseas in a face-to-face setting. With a total of 135 participants, we had 4 invited lectures and 13 general research presentations given in 4 sessions: Session 1 “Social Science I for Regional Innovation”, Session 2 “Social Science II for Regional Innovation”, Session 3 “Engineering for Regional Innovation”, Session 4 “Biological Science for Regional Innovation”, and a variety of presentations and Q&A sessions were held.

In addition, a banquet was held on the first day, and an active international exchange was promoted throughout the event.

【 Article Award 】 The workshop program committee awarded the best outstanding paper award to 1 presenter, outstanding paper awards to 2 presenters based on the abstract review and their presentations in English.

【Upcoming Schedule】 The 18th International Workshop on Regional Innovation Studies (IWRIS2026) is scheduled to be held at Mie University in mid-October 2026.